

マリアの対話

校長 Sr.大山 江理子



マリア様の珍しい小さなご像をいただきました。マリア様のマントの裾の中に子どもたちが集まって、マリア様に守られています。子どもたちを守り、支える母としての姿がマリア様の優しさや温かさを表しているようです。

5月はマリアの月として初等科ではプラクティスを行い、マリアの心に倣うよう努めます。今年のプラクティスは「あたたかい言葉～いつでも、どこでも、誰にでも～」です。これを生活の中で実行できるように考えて、行動します。

マリアはどのような対話をする方だったのでしょうか。聖書を見ると、マリアはイエスの人生の大事な場面に立ち会っています。イエスの誕生のとき（ルカ1・2章）、12歳になって子どもから少年へと変わっていくとき（ルカ2章）、弟子たちと神を伝える活動を始めたとき（ヨハネ2章）、イエスの周りに人々が集まるようになってきたとき（ルカ8章）、死のとき（ヨハネ19章）、復活後に教会が形づくられていくとき（使徒たちの宣教1章）、マリアはそこにいます。語った言葉はわずかしが聖書

には書かれていませんが、イエスを見守りつつ、イエスに向き合う姿がうかがわれます。そして、聖書に書かれてはいませんが、マリアはイエスの周りの人々とも対話したでしょう。イエスの弟子となった男の人たちの家族と対話したでしょうし、イエスと弟子たちに奉仕する女性たちとは特に深い対話をしたことでしょう。もちろん弟子たちともです。その対話の中で、イエスは何者であるか、何を語っているのか、と問いかけ、深めていたことでしょう。マリアにとっても息子イエスの語る言葉はまったく新しく聞こえ、深いものであったに違いありません。

相手の話をよく聴いていないと、対話はできません。上滑りな言葉のやりとりで終わってしまいます。落ち着いて、耳を傾けることがまず対話の始まりかもしれません。そして、自分の心にもしっかりと耳を傾けていることもきっと大切です。気づかないうちに、不安や恐れに動かされたり、安易な気持ちに流されたりして、大事なことを見逃したり、避けたりしてしまうこともあります。

子どもは変化していく存在です。一瞬ごとが大切とも言えます。子どもと関わる私たち大人が、あたたかい言葉を心がけるとしたら、それは常套句ではなく、子どもの言葉によく耳を傾け、子どものその場の求めに応えるものとしたと考えます。子どもたちと共に今月のプラクティスを心にどのような対話ができるでしょうか。

5月の行事予定

- | | |
|--|------------------------------|
| 1日(月) 1年生を迎える会(1限) | 16日(火) 尿検査2次 |
| 2日(火) 遠足(5・6年) | 18日(木) 運動会総練習(午前) |
| 3日(水) 憲法記念日 | 21日(日) 主の昇天 |
| 4日(木) みどりの日 | 22日(月) 運動会総練習予備日 |
| 5日(金) こどもの日 | 23日(火) 尿検査2次予備日 |
| 8日(月) 1年・転入・編入保護者会(SBH)
下校グループ親子集会
(1・5・6年・4限) | 25日(木) 聖マグダレナ・ソフィア祝日
お祈り会 |
| 9日(火) 運動会全体練習①(午前) | 26日(金) 運動会準備(午後) |
| 10日(水) 運動会全体練習予備日
泉の会代表幹事会 | 27日(土) 運動会 |
| | 28日(日) (雨天予備日) 聖霊降臨の主日 |
| | 29日(月) (雨天予備日) 運動会代休 |
| | 31日(水) 聖母戴冠式朝礼(1-6年) |



【1stステージ 遠足】



*カトリックの洗礼、初聖体をお受けになった方は、連絡簿でお知らせください。

マリア様の月のプラクティス

あたたかい言葉

～いつでも、どこでも、だれにでも～